

安全保障理事会決議 2081 (2012)

2012年12月17日、安全保障理事会第6889回会合にて採択、

安全保障理事会は、

2012年10月29日付の旧ユーゴスラビア国際裁判所（以下「国際裁判所」）の所長からの書簡を添えている2012年11月14日付事務総長発安保理議長宛書簡（S/2012/845）に留意し、

1993年5月25日の827(1993)、2003年8月28日の1503(2003)および2004年3月26日の1534の安保理決議並びに国際裁判所に関する安保理の従前の諸決議を想起し、

国際刑事裁判所残余メカニズム（以下「メカニズム」）を設立する2010年12月22日の安保理決議1966(2010)もまた想起し、また国際裁判所に対し、遅くとも2014年12月31日までにその全ての残っている作業を迅速に完了し、その閉鎖を準備しまたメカニズムへの順調な移行を確保するためあらゆる可能な措置を講じることを要請し、

第一審裁判部および上訴裁判部の構成員である国際裁判所の常任と臨時の裁判官の任期の延長に関する安保理の従前の諸決議もまた想起し、

メカニズムの旧ユーゴスラビア国際裁判所支部が2013年7月1日に任務を開始するものとすることを更に想起しまたこれに関して講じられてきた準備措置を歓迎し、

国際裁判所完了戦略報告書（S/2012/847）における同裁判所による評価および最新の情報に更新された第一審裁判部並びに上訴裁判部の予定表を考慮し、

職員配置について国際裁判所所長により表明された懸念に留意し、また職員の維持は国際裁判所の活動の時を得た完了にとって不可欠であることを再確認し、

国際連合憲章第7章にもとづいて行動して、

1. ICTY に対し、2014年12月31日までに第一審裁判部および上訴裁判部の手続を完了することを国際裁判所に要請した決議1966(2010)を考慮しつつ、裁判所の閉鎖を促進する目的で可能な限り迅速にその作業を完了するためあらゆる可能な措置を講じることを要請し、またその現行の第一審裁判部および上訴裁判部の予定が2014年12月31日を越えるという懸念が表明されてきたことを認識する。

2. 国際裁判所に対し、監査委員会が勧告したように、2013年4月15日までに完了戦略、閉鎖、メカニズムへの移行に関する整理統合された包括的計画を、また事件の各手続部分に対する期限と共に個別事件の各々の最新情報に更新された且つ詳細な計画表を提示することを要請する。

3. 決議 1966 (2010) において要請されたように可及的速やかな国際裁判所の完了、閉鎖およびメカニズムへの移行に向けた進展を促進するためになされるべき更なる勧告について審議する目的で、2013年6月30日以前に本決議の第2項に言及された整理統合された包括的計画を検討することを決定する。そしてそのことは、裁判所の資源の最も効果的な使用および裁判所の職務権限の完了を確保する目的で、裁判所の活動と機能を精細に調べるためのあらゆる可能な措置に関する勧告を含む。

4. 国家は、裁判所の活動において裁判所を支援するための情報の提供を通じたものを含んで、国際裁判所とまたメカニズムと十分に協力すべきことを強調する。

5. 上訴裁判部の構成員である国際裁判所の次の常任裁判官の任期を2013年12月31日まで、若しくは彼らが割り当てられている事件の完了が早い場合にはその時まで、延長することを決定する。

カーメル・アイウス (マルタ)

リー・ダークン (中国)

ヤオドル・メロン (アメリカ合衆国)

ファウスト・ポカール (イタリア)

パトリック・ロビンソン (ジャマイカ)

6. 第一審裁判部の構成員である国際裁判所の次の常任裁判官の任期を2013年12月31日まで、若しくは彼らが割り当てられている事件の完了が早い場合にはその時まで、延長することを決定する。

ジャン・クロード・アントネッティ (フランス)

ガイ・デルヴォア (ベルギー)

バートン・ホール (バハマ)

クリストフ・フッグ (ドイツ)

オ・ゴン・クオン (韓国)

バコネ・ジャスティス・モロト (南アフリカ)

ホワード・モリソン (連合王国)

アルフォンス・オリエ (オランダ)

7. 第一審裁判部の構成員である国際裁判所の次の臨時裁判官の任期を2013年6月1日まで、若しくは彼らが割り当てられている事件の完了が早い場合にはその時まで、延長することを決定する。

エリザベス・グワンザ (ジンバブエ)

ミッシェル・ピカール (フランス)

アルバッド・プランドラー (ハンガリー)

ステファン・トレッセル (スイス)

8. 第一審裁判部の構成員である臨時裁判官フレドリック・ハーホフ (デンマーク) の任期を2013年12月31日まで、若しくは彼が割り当てられている事件の完了が早い場合にはその時まで、延長することを決定する。

9. 第一審裁判部の構成員である国際裁判所の次の臨時裁判官の任期を2013年12月31日まで、若

しくは彼らが割り当てられている事件の完了が早い場合にはその時まで、延長することを決定する。

メルヴィル・バード（トリニダード・トバゴ）

フラヴィア・ラタンツィ（イタリア）

アントーネ・ケムアームベ・ミンデュア（コンゴ民主共和国）

10. この問題に引き続き取り組むことを決定する。